

人材採用を強化し、地元で根差した企業として企業価値を高めたい

## 株式会社川股設備工業・相原哲哉さん

1974 年、北海道函館市で創業し、空調・給排水・ガスを中心に扱う総合設備工事業者の株式会社川股設備工業。執行役員の相原哲哉さんに北海道の人材不足状況や対策、今後のビジョンについておうかがいしました。

### ■会社概要について教えてください

函館市に本社を構える総合設備会社で、この 4 月に創業 50 周年の節目を迎えます。主に 3 つの柱があり、「エネルギー事業部」では北海道ガス様の指定工事業者として、都市ガス設備の設計・施工を行っています。「設備部」では大型商業施設や病院などの空調・ガス・冷暖暖房・給排水設備等の設計・施工、「メンテナンス部」では空調・ガス・冷暖暖房・給排水設備等の修理、改修、保守点検を行っています。

### ■函館の特徴について教えてください

今、札幌駅周辺部や創成地区の再開発が進んでいます。新幹線も札幌まで延伸し、千歳市に半導体メーカーが進出するなど、道央圏に大きなイベントが集中しており、資金も人材もこの地区に集中する流れがあります。プラスして、石狩湾に洋上風力発電、苫小牧にソフトバンクのデータセンター建設の計画もあり、しばらくは日本海から太平洋に抜けるラインで経済的に活発な動きが続くものと思われます。

### ■そのような環境下での採用活動はいかがでしょうか？

毎年、新卒の採用活動を行っているのですが、道央圏はもとより首都圏の吸引力がますます強くなっているのを実感しています。大半の地元企業が苦戦を強いられていますし、旭川や釧路、北見など道内の地方企業も同じ状況だと思います。

ただ道南地区に関して言えば、観光資源を有しており、農業や水産業も盛んなので、比較的、将来性があると思っています。

弊社の仕事は国家資格や認定が必要な職種であり、企業価値は「社員の技術力」にかかっています。U ターン希望者のなかにも、技術力のある有望な方が多いので、情報収集を強化し、採用に力を入れていきたいと考えています。現場担当として女性の採用も積極的に実施しているところです。U ターンでなくても、同じような業務をなさっていた方であれば、技術的には問題ないと思います。ご家族に納得していただけるのであれば、受け入れたいですね。

#### ■今後のビジョンについてお聞かせください

弊社は創業してから、道南エリアを中心に営業を展開してきましたが、近年では札幌など道央圏で設備業者、技術者の不足が深刻で、取引先から技術力の提供や応援要請がある状況です。弊社としても札幌進出を視野に、現在準備作業中です。人材の確保については M & A や外部人材の活用も含め検討しているところです。

国をあげて地球温暖化等の環境問題への意識、GX(グリークトランスフォーメーション)の取り組みが進んでいますが、弊社も設備業者として環境への意識と高度な技術力を備えつつ、環境対策の一翼を担っていきたいと考えています。地元根差した企業として、体力・企業価値を高め、若い人たちが安心して長く働ける場を提供することで、活性化に貢献したいと思っています。

【企業 HP】 <https://kawamata-setsubi.co.jp/>